



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会社名 ニッパン（日発販売株式会社）
代表者名 代表取締役社長 石川 隆 重
コード番号 7563 東証 2 部
問い合わせ先 取締役常務執行役員管理本部長 佐々木 孝
(TEL. 03-5690-3001)

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、本日（平成 22 年 5 月 14 日）付で、下記のとおり過年度決算短信等の一部訂正を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯

平成 22 年 3 月 4 日付「当社元従業員による不正取引に関するお知らせ」、平成 22 年 3 月 11 日付「外部調査委員会設置に関するお知らせ」、平成 22 年 4 月 28 日付「外部調査委員会調査報告及び責任者の処分に関するお知らせ」及び平成 22 年 5 月 14 日付「過年度決算短信等の一部訂正について」をご参照下さい。

2. 訂正を行う決算短信等

- ・ 平成 20 年 7 月 23 日付 「平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」

以 上

(財)財務会計基準機構会員



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月23日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社) 上場取引所 東証二部
 コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 隆重
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 孝 TEL (03) 5690-3001
 四半期報告書提出予定日 平成20年7月31日

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	10,234	—	187	—	195	—	109	—
20年3月期第1四半期	10,406	△0.1	116	△49.8	131	△47.4	65	△61.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4 81	—
20年3月期第1四半期	2 90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	20,798	6,515	31.0	283 57
20年3月期	21,071	6,465	30.4	281 31

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,456百万円 20年3月期 6,405百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	— —	3 00	— —	4 00	7 00
21年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
21年3月期(予想)	— —	3 00	— —	4 00	7 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	21,200	—	220	—	210	—	110	—	4 83	
通 期	44,600	0.7	1,150	6.7	1,120	3.6	605	△0.2	26 57	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月23日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社) 上場取引所 東証二部
 コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 隆重
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 孝 TEL (03) 5690-3001
 四半期報告書提出予定日 平成20年7月31日

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	10,234	—	158	—	165	—	80	—
20年3月期第1四半期	10,406	△0.1	98	△51.9	114	△48.9	48	△66.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	3 52	—
20年3月期第1四半期	2 12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	20,583	6,277	30.2	273 12
20年3月期	20,894	6,256	29.7	272 15

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,218百万円 20年3月期 6,196百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3 00	—	4 00	7 00
21年3月期	—	—	—	—	7 00
21年3月期(予想)	—	3 00	—	4 00	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

3. 21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	21,200	—	220	—	210	—	110	—	4 83	
通 期	44,600	0.7	1,150	18.8	1,120	15.3	605	21.8	26 57	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、天然資源の価格高騰による原材料高が続いており、企業業績への深刻な影響が懸念される状況となっております。

当社グループでは、オートパーツ事業での **△GREEN** ブランド商品をはじめとする乗用車向け戦略商品の拡販、プレジジョンパーツ事業での自動車の環境関連部品など成長分野に向けた戦略商品の強化、IT事業でのデジタル中国地図を軸とした新たなビジネスモデルの構築など、各事業部門における戦略を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期の連結売上高は10,234百万円で前期比1.7%の減収となりましたが、利益面では営業利益は187百万円(前年同期比61.9%増)、経常利益は195百万円(前年同期比48.4%増)、当期純利益は109百万円(前年同期比66.1%増)といずれも増益となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[オートパーツ事業]

当事業部門の商品は、自動車補修部品の「自動車用部品用品」「自動車用ばね」であります。

自社ブランド **△GREEN** 商品の売上は増加したものの、補修用ばねをはじめとする大型車部品の売上が減少し、連結売上高は3,406百万円で前期比0.2%の減収、営業損失は16百万円となりました。

[プレジジョンパーツ事業]

当事業部門の商品は、「産業用機器・部品」「ファスナー」「精密ばね」「資材」であります。

自動車産業向けのファスナー、機械加工品が好調を維持し、連結売上高は6,182百万円で前期比2.0%の増収、営業利益は203百万円で前期比51.1%の増益となりました。

[IT事業]

当事業部門の商品は、「情報関連」「加工関連」「機材設備関連」であります。

情報関連商品、機械装置の売上が落ち込み、連結売上高は645百万円で前期比30.7%の減収、営業利益は1百万円で前期比91.6%の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、20,798百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、14,501百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が648百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、6,296百万円となりました。これは、主として投資有価証券が77百万円増加したことなどによります。

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、14,282百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、13,995百万円となりました。これは、主として未払法人税等が288百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、286百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が3百万円減少したことなどによります。

当第1四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、6,515百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が34百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ178百万円(14.6%)増加し、1,400百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、33百万円となっております。これは、主として売上債権の減少による資金の増加が648百万円あったのに対して、仕入債務の減少による支出が263百万円、法人税等の支払額が329百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、21百万円となっております。これは、主として投資有価証券の取得による支出が21百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、253百万円となっております。これは、主として短期借入金の増加額が344百万円となったことによります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、天然資源の価格高騰による原材料高が続いており、企業業績への深刻な影響が懸念される状況となっております。

当社グループでは、オートパーツ事業での **△GREEN** ブランド商品をはじめとする乗用車向け戦略商品の拡販、プレジジョンパーツ事業での自動車の環境関連部品など成長分野に向けた戦略商品の強化、IT事業でのデジタル中国地図を軸とした新たなビジネスモデルの構築など、各事業部門における戦略を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期の連結売上高は10,234百万円で前期比1.7%の減収となりましたが、利益面では営業利益は158百万円(前年同期比60.8%増)、経常利益は165百万円(前年同期比45.4%増)、当期純利益は80百万円(前年同期比65.5%増)といずれも増益となりました。

セグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

[オートパーツ事業]

当事業部門の商品は、自動車補修部品の「自動車用部品用品」「自動車用ばね」であります。

自社ブランド **△GREEN** 商品の売上は増加したものの、補修用ばねをはじめとする大型車部品の売上が減少し、連結売上高は3,406百万円で前期比0.2%の減収、営業損失は16百万円となりました。

[プレジジョンパーツ事業]

当事業部門の商品は、「産業用機器・部品」「ファスナー」「精密ばね」「資材」であります。

自動車産業向けのファスナー、機械加工品が好調を持続し、連結売上高は6,182百万円で前期比2.0%の増収、営業利益は173百万円で前期比48.6%の増益となりました。

[IT事業]

当事業部門の商品は、「情報関連」「加工関連」「機材設備関連」であります。

情報関連商品、機械装置の売上が落ち込み、連結売上高は645百万円で前期比30.7%の減収、営業利益は1百万円で前期比91.6%の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、20,583百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%減少し、14,286百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が648百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%増加し、6,296百万円となりました。これは、主として投資有価証券が77百万円増加したことなどによります。

当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、14,305百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、14,018百万円となりました。これは、主として未払法人税等が288百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、286百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が3百万円減少したことなどによります。

当第1四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、6,277百万円となりました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が34百万円増加したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ178百万円(14.6%)増加し、1,400百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、33百万円となっております。これは、主として売上債権の減少による資金の増加が648百万円あったのに対して、仕入債務の減少による支出が263百万円、法人税等の支払額が329百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、21百万円となっております。これは、主として投資有価証券の取得による支出が21百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、253百万円となっております。これは、主として短期借入金の増加額が344百万円となったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内の産業景気は、原材料高が今後とも継続することが見込まれ、企業の収益環境は一段と厳しくなることが予想されます。

このような経営環境下、当社グループは各事業別の成長戦略を推進するとともに、原材料高の状況を注視し、あらゆる面での収益向上・合理化施策を実施してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであり、平成20年4月24日発表の連結業績予想を修正していません。

(通期連結業績予想)

売上高	44,600 百万円	(前期比 0.7%増)
営業利益	1,150 百万円	(前期比 6.7%増)
経常利益	1,120 百万円	(前期比 3.6%増)
当期純利益	605 百万円	(前期比 0.2%減)

4. その他

(1) 期中における重要な個会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前純利益は、それぞれ2百万円減少しております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内の産業景気は、原材料高が今後とも継続することが見込まれ、企業の収益環境は一段と厳しくなることが予想されます。

このような経営環境下、当社グループは各事業別の成長戦略を推進するとともに、原材料高の状況を注視し、あらゆる面での収益向上・合理化施策を実施してまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであり、平成20年4月24日発表の連結業績予想を修正していません。

(通期連結業績予想)

売上高	44,600 百万円	(前期比 0.7%増)
営業利益	1,150 百万円	(前期比 18.8%増)
経常利益	1,120 百万円	(前期比 15.3%増)
当期純利益	605 百万円	(前期比 21.8%増)

4. その他

(1) 期中における重要な個会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前純利益は、それぞれ2百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

[訂正前]

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,400,660	1,222,128
受取手形及び売掛金	8,819,090	9,467,168
商品	3,222,015	3,165,506
製品	140,141	99,752
その他たな卸資産	11,606	7,515
繰延税金資産	210,416	291,857
その他	709,658	616,353
貸倒引当金	△11,793	△8,087
流動資産合計	14,501,796	14,862,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,620,951	1,637,451
土地	3,067,856	3,067,856
その他	125,392	132,171
有形固定資産合計	4,814,199	4,837,479
無形固定資産	37,714	39,235
投資その他の資産		
投資有価証券	946,142	868,521
長期貸付金	113,259	114,804
繰延税金資産	13,359	13,156
その他	412,779	376,205
貸倒引当金	△40,478	△40,098
投資その他の資産合計	1,445,062	1,332,589
固定資産合計	6,296,977	6,209,304
資産合計	20,798,774	21,071,500
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,627,895	10,891,786
短期借入金	2,494,513	2,150,021
未払法人税等	22,280	310,857
役員賞与引当金	8,100	30,150
事業清算損失引当金	4,324	4,324
その他	838,881	925,223
流動負債合計	13,995,995	14,312,362
固定負債		
繰延税金負債	64,387	68,184
退職給付引当金	39,062	38,467
役員退職慰労引当金	183,470	187,041
固定負債合計	286,919	293,692
負債合計	14,282,914	14,606,055

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	2,991,696	2,973,226
自己株式	△7,803	△7,793
株主資本合計	6,275,630	6,257,170
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	225,836	191,686
繰延ヘッジ損益	△11,474	△31,126
為替換算調整勘定	△33,228	△12,425
評価・換算差額等合計	181,133	148,134
少数株主持分	59,095	60,140
純資産合計	6,515,859	6,465,445
負債純資産合計	20,798,774	21,071,500

[訂正後]

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,400,660	1,222,128
受取手形及び売掛金	8,819,090	9,467,168
商品	3,135,402	3,067,131
製品	140,141	99,752
その他たな卸資産	11,606	7,515
繰延税金資産	210,416	291,857
その他	580,840	537,791
貸倒引当金	△11,793	△8,087
流動資産合計	14,286,365	14,685,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,620,951	1,637,451
土地	3,067,856	3,067,856
その他(純額)	125,392	132,171
有形固定資産合計	4,814,199	4,837,479
無形固定資産	37,714	39,235
投資その他の資産		
投資有価証券	946,142	868,521
長期貸付金	113,259	114,804
繰延税金資産	13,359	13,156
その他	412,779	376,205
貸倒引当金	△40,478	△40,098
投資その他の資産合計	1,445,062	1,332,589
固定資産合計	6,296,977	6,209,304
資産合計	20,583,342	20,894,563

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,628,226	10,891,974
短期借入金	2,494,513	2,150,021
未払法人税等	22,280	310,857
役員賞与引当金	8,100	30,150
事業清算損失引当金	4,324	4,324
その他	861,231	956,723
流動負債合計	14,018,676	14,344,050
固定負債		
繰延税金負債	64,387	68,184
退職給付引当金	39,062	38,467
役員退職慰労引当金	183,470	187,041
固定負債合計	286,919	293,692
負債合計	14,305,596	14,637,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	2,753,583	2,764,602
自己株式	△7,803	△7,793
株主資本合計	6,037,517	6,048,545
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	225,836	191,686
繰延ヘッジ損益	△11,474	△31,126
為替換算調整勘定	△33,228	△12,425
評価・換算差額等合計	181,133	148,134
少数株主持分	59,095	60,140
純資産合計	6,277,746	6,256,820
負債純資産合計	20,583,342	20,894,563

(2) 四半期連結損益計算書

[訂正前]

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	10,234,171
売上原価	8,466,814
売上総利益	1,767,357
販売費及び一般管理費	1,579,389
営業利益	187,967
営業外収益	
受取利息	1,074
受取配当金	22,107
仕入割引	13,700
その他	5,792
営業外収益合計	42,674
営業外費用	
支払利息	9,275
手形売却損	10,219
売掛債権売却損	6,186
売上割引	3,889
その他	5,618
営業外費用合計	35,190
経常利益	195,451
特別利益	
固定資産売却益	864
投資有価証券売却益	1,882
貸倒引当金戻入額	110
特別利益合計	2,857
特別損失	
固定資産除却損	66
事業清算損	8,200
特別損失合計	8,266
税金等調整前四半期純利益	190,042
法人税、住民税及び事業税	40,837
法人税等調整額	40,706
法人税等合計	81,543
少数株主損失(△)	△1,046
四半期純利益	109,546

[訂正後]

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	10,234,171
売上原価	8,503,052
売上総利益	1,731,118
販売費及び一般管理費	1,572,639
営業利益	158,479
営業外収益	
受取利息	1,074
受取配当金	22,107
仕入割引	13,700
その他	5,792
営業外収益合計	42,674
営業外費用	
支払利息	9,275
手形売却損	10,219
売掛債権売却損	6,186
売上割引	3,889
その他	5,618
営業外費用合計	35,190
経常利益	165,963
特別利益	
固定資産売却益	864
投資有価証券売却益	1,882
貸倒引当金戻入額	110
特別利益合計	2,857
特別損失	
固定資産除却損	66
事業清算損	8,200
特別損失合計	8,266
税金等調整前四半期純利益	160,554
法人税、住民税及び事業税	40,837
法人税等調整額	40,706
法人税等合計	81,543
少数株主損失(△)	△1,046
四半期純利益	80,058

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[訂正前]

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	190,042
持分法による投資損益(△は益)	865
減価償却費	31,474
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,085
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,050
退職給付引当金の増減額(△は減少)	595
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,571
受取利息及び受取配当金	△23,181
支払利息	9,275
有形固定資産売却損益(△は益)	△864
有形固定資産除却損	66
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1,882
売上債権の増減額(△は増加)	648,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△100,988
仕入債務の増減額(△は減少)	△263,890
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,097
その他の資産の増減額(△は増加)	△131,371
その他の負債の増減額(△は減少)	△68,827
小計	260,757
利息及び配当金の受取額	22,562
利息の支払額	△9,246
法人税等の支払額	△307,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,249
有形固定資産の売却による収入	3,260
投資有価証券の取得による支出	△21,770
投資有価証券の売却による収入	2,470
貸付金の回収による収入	2,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	344,492
自己株式の取得による支出	△9
配当金の支払額	△91,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	253,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,531
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400,660

[訂正後]

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	160,554
持分法による投資損益(△は益)	865
減価償却費	31,474
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,085
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,050
退職給付引当金の増減額(△は減少)	595
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,571
受取利息及び受取配当金	△23,181
支払利息	9,275
有形固定資産売却損益(△は益)	△864
有形固定資産除却損	66
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1,882
売上債権の増減額(△は増加)	648,078
たな卸資産の増減額(△は増加)	△112,749
仕入債務の増減額(△は減少)	△263,747
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,160
その他の資産の増減額(△は増加)	△81,115
その他の負債の増減額(△は減少)	△75,915
小計	260,757
利息及び配当金の受取額	22,562
利息の支払額	△9,246
法人税等の支払額	△307,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,249
有形固定資産の売却による収入	3,260
投資有価証券の取得による支出	△21,770
投資有価証券の売却による収入	2,470
貸付金の回収による収入	2,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,156
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	344,492
自己株式の取得による支出	△9
配当金の支払額	△91,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	253,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	178,531
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400,660

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項ありません

(5) セグメント情報
【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョンパ ーツ 事業 (千円)	I T事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,406,558	6,182,482	645,131	10,234,171	—	10,234,171
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,406,558	6,182,482	645,131	10,234,171	(—)	10,234,171
営業利益又は営業損失(△)	△ 16,748	203,412	1,304	187,967	—	187,967

(注) 1. 事業区分は、商品の種類および販売経路の共通性を考慮しております。

2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
I T事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項ありません

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項ありません

(5) セグメント情報
【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョンパ ーツ 事業 (千円)	I T 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,406,558	6,182,482	645,131	10,234,171	—	10,234,171
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,406,558	6,182,482	645,131	10,234,171	(—)	10,234,171
営業利益又は営業損失(△)	△ 16,748	173,924	1,304	158,479	—	158,479

(注) 1. 事業区分は、商品の種類および販売経路の共通性を考慮しております。
2. 各事業区分の主要商品

事 業 区 分	主 要 商 品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
I T 事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項ありません

[参考情報]

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金額(百万円)
売上高	10,406
売上原価	8,680
売上総利益	1,726
販売費及び一般管理費	1,610
営業利益	116
営業外収益	43
受取利息	1
受取配当金	20
仕入割引	14
その他	7
営業外費用	28
支払利息	10
手形売却損	9
売掛債権売却損	3
売上割引	3
その他	1
経常利益	131
特別利益	0
投資有価証券売却益	0
特別損失	0
固定資産除却損	0
税金等調整前四半期純利益	132
税金費用	67
少数株主損失	△ 1
四半期純利益	65

【訂正後】

[参考情報]

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金額(百万円)
売上高	10,406
売上原価	8,702
売上総利益	1,704
販売費及び一般管理費	1,605
営業利益	98
営業外収益	43
受取利息	1
受取配当金	20
仕入割引	14
その他	7
営業外費用	28
支払利息	10
手形売却損	9
売掛債権売却損	3
売上割引	3
その他	1
経常利益	114
特別利益	0
投資有価証券売却益	0
特別損失	0
固定資産除却損	0
税金等調整前四半期純利益	114
税金費用	67
少数株主損失	△ 1
四半期純利益	48

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金額(百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	132
減価償却費	33
貸倒引当金の増減額	△ 1
役員賞与引当金の増減額	△ 24
退職給付引当金の増減額	17
役員退職慰労引当金の増減額	△ 115
受取利息及び受取配当金	△ 21
支払利息	10
有形固定資産除却損	0
投資有価証券売却益	△ 0
売上債権の増減額	213
棚卸資産の増減額	△ 107
仕入債務の増減額	△ 1,168
未払消費税等の増減額	23
その他	△ 48
小計	△ 1,056
利息及び配当金の受取額	21
利息の支払額	△ 10
法人税等の支払額	△ 117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,163
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 3
投資有価証券の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△ 10
無形固定資産の取得による支出	△ 2
貸付金による支出	△ 17
貸付金回収による収入	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△ 655
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 91
少数株主への配当金の支払額	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 749
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,944
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,217
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,273

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金額(百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	114
減価償却費	33
貸倒引当金の増減額	△ 1
役員賞与引当金の増減額	△ 24
退職給付引当金の増減額	17
役員退職慰労引当金の増減額	△ 115
受取利息及び受取配当金	△ 21
支払利息	10
有形固定資産除却損	0
投資有価証券売却益	△ 0
売上債権の増減額	213
棚卸資産の増減額	△ 85
仕入債務の増減額	△ 1,168
未払消費税等の増減額	23
その他	△ 52
小計	△ 1,056
利息及び配当金の受取額	21
利息の支払額	△ 10
法人税等の支払額	△ 117
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,163
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 3
投資有価証券の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△ 10
無形固定資産の取得による支出	△ 2
貸付金による支出	△ 17
貸付金回収による収入	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△ 655
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 91
少数株主への配当金の支払額	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 749
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 1,944
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,217
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,273

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日) (単位:百万円)

	オートパーツ 事業	アプリケーションパーツ 事業	I T事業	合計	消去又は全社	連結
売上高	3,412	6,062	931	10,406	(—)	10,406
営業費用	3,446	5,928	915	10,290	(—)	10,290
営業利益又は損失(△)	△ 34	134	15	116	(—)	116

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）（単位：百万円）

	オートパーツ 事業	アプリケーションパーツ 事業	I T事業	合計	消去又は全社	連結
売上高	3,412	6,062	931	10,406	(—)	10,406
営業費用	3,446	5,945	915	10,307	(—)	10,307
営業利益又は損失(△)	△ 34	117	15	98	(—)	98

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。